

平成 19 年度とやま環境チャレンジ 10 報告書 (概要版)

I. 事業の目的

県内の 10 歳の児童（小学校 4 年生）が、地球温暖化問題を学び、10 個の目標を決めて、家族とともに家庭での対策を実践・自己評価するという一連の取組みを行い、環境に配慮したライフスタイルへの理解を促し、家庭での取組みの定着を図る。

II. 事業の内容

1. チャレンジ 10 の特色

- ・児童が身近な対策（使っていない部屋の電気を消す、水を出しっぱなしにしない、家電は主電源から切る等）の中から、やってみようと思うものを自ら考えて選ぶ。
- ・目標を立てて、選んだ取組みを一定期間、家族とともに楽しく実践し、習慣として身につける。
- ・地域の「地球温暖化防止活動推進員※」が各校を担当し、出前講座や進行管理を行う。
※県が委嘱をし、地域において地球温暖化防止に関する住民への普及啓発、調査、指導及び助言等を行う。（平成 19 年 4 月現在 65 名）



子ども達を使用した「とりくみノート」

2. 事業対象者 小学生4年生の児童2,695人及びその家族

[平成19年度実施校：57校]

富山市	岩瀬小学校	高岡市	石堤小学校	小矢部市	石動小学校
	浜黒崎小学校		千鳥丘小学校		岩尾滝小学校
	大広田小学校		万葉小学校	南砺市	平小学校
	新庄小学校		下関小学校		城端小学校
	三郷小学校	吉島小学校	井口小学校		
	上条小学校	片貝小学校	上平小学校		
	太田小学校	魚津市	住吉小学校	射水市	新湊小学校
	新保小学校		松倉小学校		作道小学校
	大沢野小学校		宮田小学校		片口小学校
	上滝小学校		十二町小学校		歌の森小学校
	檜尾小学校	氷見市	上庄小学校	舟橋村	太閤山小学校
	速星小学校		久目小学校		舟橋小学校
	桜谷小学校		北加積小学校		白萩西部小学校
	長岡小学校	滑川市	西部小学校	立山町	立山中央小学校
	老田小学校		東部小学校		飯野小学校
	星井町五番町小学校		黒部市	生地小学校	入善町
	清水町小学校	田家小学校		朝日町	
	奥田北小学校	村椿小学校			
				前沢小学校	
高岡市	伏木小学校				
	中田小学校	砺波市	砺波北部小学校		

3. 事業の流れ

(1) 地球温暖化に関する授業（環境チャレンジ教室前編）【6月～9月頃】

地球温暖化や家庭でできる地球温暖化防止の取組み等に関して、地球温暖化防止活動推進員が、各小学校で授業を実施。



推進員による授業の様子

(2) 家庭での取組み内容の決定【6月～9月頃】

児童が、授業を踏まえ、家族とともに、家庭で行う地球温暖化防止のための取組みを検討し、目標とともに「とりくみノート」にその内容を記載。

(3) 家庭での実践【6月～12月の期間内10週間】

児童が家族とともに、家庭での取組みを10週間実践するとともに、取組み状況について、毎週3段階のシールを貼り、自己評価。

(4) 取組み結果の回収

取組み期間終了後、とりくみノートを回収するとともに、児童、家族、学校に対して、地球温暖化に対する意識や取組みの感想等についてアンケート調査を実施。

(5) 取組み結果のふり返し（環境チャレンジ教室後編）【9月～1月頃】

各小学校の実施結果を取りまとめ、「チャレンジ10通信」として各校・児童に配布。また、取組みの講評を行うとともに、今後の取組みの継続を促すため、各校において環境チャレンジ教室後編を実施。



推進員による授業の様子

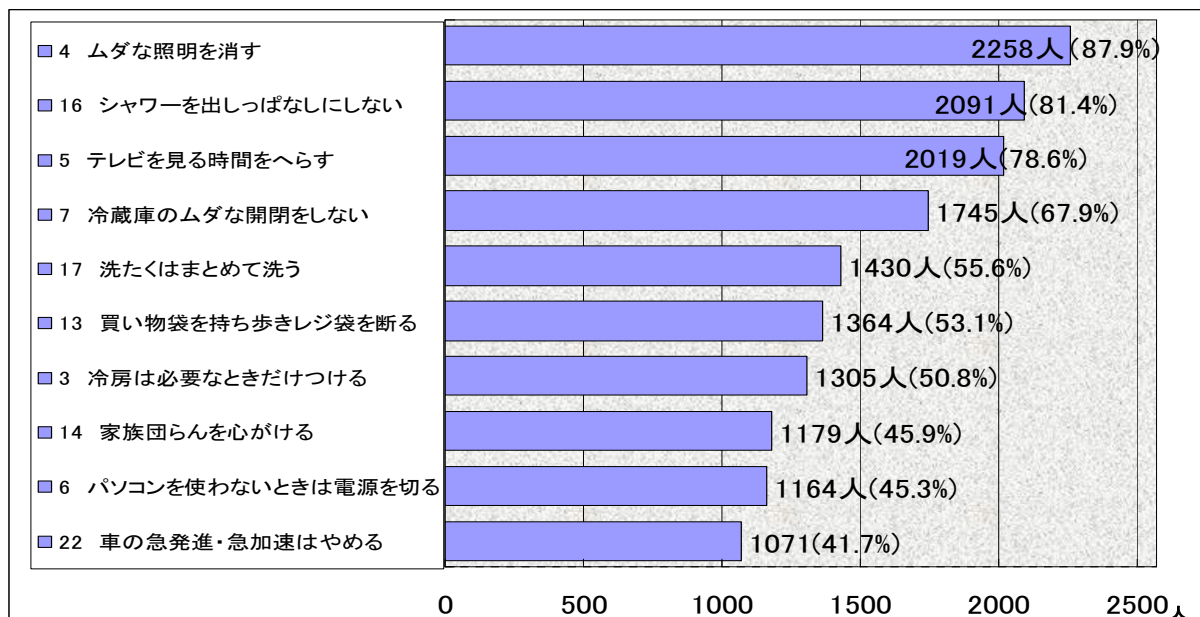
Ⅲ. 事業の結果

1. 参加人数等

- ◇ 参加校 … 57校
- ◇ 参加児童数 … 2,695人
- ◇ とりくみノート提出児童数 … 2,570人

2. チャレンジ人数が多かった取組み「ベスト・チャレンジ10」

チャレンジした児童数が多かった上位10項目の取組みは、次のとおり。



(項目の先頭数字は、とりくみ例の番号。チャレンジ児童数 2,570人)

3. 取組み効果の推計

チャレンジ児童全員が、各自選んだ取組みすべてを、10週間、着実に実践したと仮定し効果を推計すると、次のとおり。

- ◇ 二酸化炭素排出量：約 181トンの削減 (スギの木12,983本1年分の吸収量に相当^{注1})
- ◇ 節約額：約 1,020万円の節約 (児童1人(1世帯)当たり約 3,970円)

また、前記の「ベスト・チャレンジ10」のとりくみを選んだ児童が、10週間、着実に実践したと仮定し効果を推計すると、次のとおり。

- ◇ 二酸化炭素排出量：約 115トンの削減 (スギの木8,249本1年分の吸収量に相当^{注1})
- ◇ 節約額：約 617万円の節約

注1…スギの木1本あたりの年間CO2吸収量は、14kgとして計算

(出典：環境省／林野庁「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」)

【効果の推計】

ベスト	えらんだとりくみ	チャレンジ 児童数 A	10週間の削減効果		効果の推計	
			CO2(kg) B	金額(円) C	CO2(kg) X=A×B	金額(円) Y=A×C
1	4 ムダな照明を消す	2,258	2.1	83	4,742	187,414
2	16 シャワーは出っぱなしにしない	2,091	5.6	557	11,710	1,164,687
3	5 テレビを見る時間をへらす	2,019	3.4	135	6,865	272,565
4	7 冷蔵庫のムダな開閉をしない	1,745	1.1	45	1,920	78,525
5	17 洗たくはまとめて洗う	1,430	0.6	758	858	1,083,940
6	13 買い物袋を持ち歩きレジ袋を断る	1,364	11.1	*1	15,140	
7	3 冷房は必要なときだけつける	1,305	2.0	79	2,610	103,095
8	14 家族団らんを心がける	1,179	45.6	1,995	53,762	2,352,105
9	6 パソコンを使わないときは電源を切る	1,164	3.4	133	3,958	154,812
10	22 車の急発進・急加速はやめる	1,071	13.0	720	13,923	771,120
ベスト10の合計					115,487	6,168,263
11	9 冷蔵庫に物を詰め込みすぎない	1,054	4.7	185	4,954	194,990
12	15 お風呂は間隔をあけずに入る	1,046	17.0	1,092	17,782	1,142,232
13	20 温水洗浄便座のフタを閉める	1,004	3.7	148	3,715	148,592
14	21 アイドリングをストップする	1,000	7.7	426	7,700	426,000
15	19 家電は主電源から切る	755	11.5	650	8,683	490,750
16	2 夏の冷房の設定温度は、28℃にする	705	3.2	129	2,256	90,945
17	10 食器を洗うときは低温に設定する	636	3.9	252	2,480	160,272
18	18 お風呂の残り湯を洗濯に使う	623	1.3	800	810	498,400
19	12 炊飯ジャーで保温をひかえる	572	6.6	371	3,775	212,212
20	23 1週間に1度車に乗らない日をつくる	553	17.6	883	9,733	488,299
21	8 冷蔵庫の設定温度は適切にする	301	6.6	261	1,987	78,561
22	1 環境について家族で話し合う	297	*1	*1		
23	11 電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く	211	11.4	453	2,405	95,583
24	24 (自分で考えた取り組み)	866	*2	*2		
すべての合計					181,766	10,195,099
児童1人当たり*3					71	3,967

*1 削減効果の数値データがないため未計算

*2 さまざまな取り組み内容があるため未計算

*3 すべての合計÷とりくみノート提出児童数

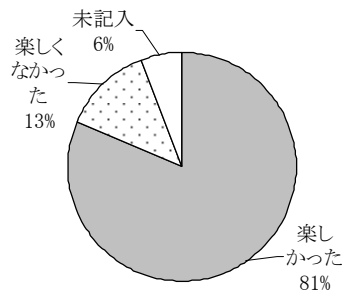
※ 削減効果の数値:(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」、環境省「身近な地球温暖化対策」より

4. 事後アンケート調査結果

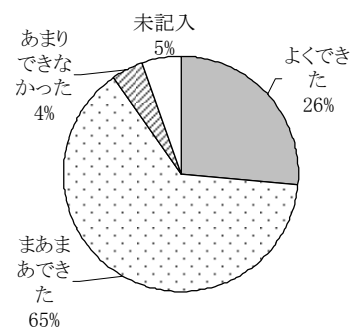
とやま環境チャレンジ10に参加した児童及び家族、学校に対して、地球温暖化問題に対する意識や取組みについてアンケートを行ったところ、結果は、次のとおり。

(1) 児童（回答数：2,570人）

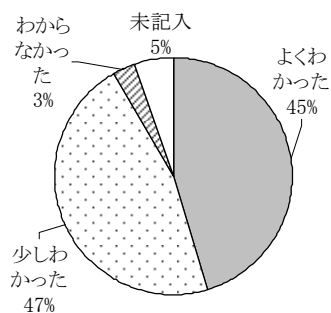
① とやま環境チャレンジ10は、楽しかったですか？



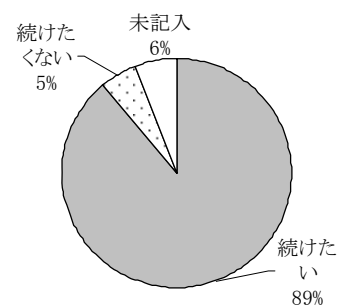
② 選んだとりくみは、10週間よくできましたか？



③ 地球温暖化は、どのような問題か、わかりましたか？



④ これからも地球温暖化を防ぐとりくみを続けていきますか？



⑤ 感想やこれからはがんばりたいこと、もっとしりたいことなどを書いてください。

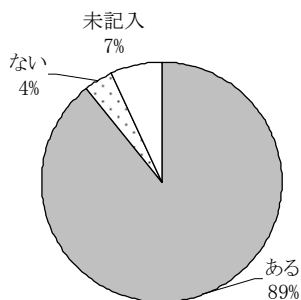
- ・温暖化がこれだけ大変だとは知らなかったの、これからもがんばりたいと思った。
- ・とりくみをつづけて、パソコンなどで、もっといろんなことを知りたいです。
- ・生活の中で、地球温暖化をふせぐとりくみがたくさんありおどろいた。これからもつづけていきたいです。
- ・今までは、すぐ忘れる事が多かったの、これからは、すぐわかる所に自分のがんばる事を紙に書いて、冷ぞうこにはっておくようにしたいです。
- ・私も弟もお父さん、お母さんも家族全員で力をあわせれば、カンタンなことなんだなあ。と思いました。
- ・チャレンジ10をやってみて、地球をすくうのは、家のこともだいじなんだと思いました。これからは自分から家でむだなことをしないようにしたい。
- ・むずかしかったけど、家の人も協力してくれて、うれしかった。
- ・たいへんだったけど、おもしろかったです。これからもテレビをあまり見ないようにしたいです。
- ・そんなにがんばらなくても、できることがたくさんあった。チャレンジ10でやったこと

なら、つづけられると思います。つぎは、少しむずかしいことにもちようせんしてみたいです。

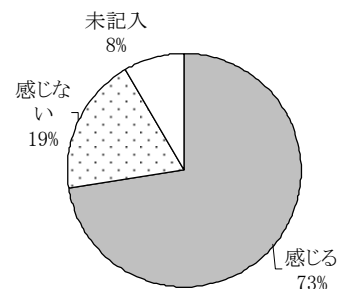
- ・いつもぼくの家はふろのおゆを使ってせんたくしているけど、とても大切という事がわかりました。
- ・テレビを見る時間をへらしてねる時間をふやすと、朝がスッキリおきれerようになりました。これからもつづけたいです。
- ・このノートがなくなっても、地球温だん化をふせぐ事をたくさんやりたいです。
- ・ずっと続けていって、地球温だん化が少しでも止まるように努力していきたいし、家族みんなにも協力してもらって、ほんの少しでも止められたら、地球は助かると思うからどんどん続けていきたいです。
- ・これからは、自分でとりくみノートみたいな物をつくって、つづけたいです。これからは、知り合い、親せき、しんゆうにもよびかけます。
- ・わたしのためではなく世界じゅうのみらいをまもるためにつづけていきたいです。

(2) 家族 (回答数 : 2,570 世帯)

① 地球温暖化問題に関心はありますか？

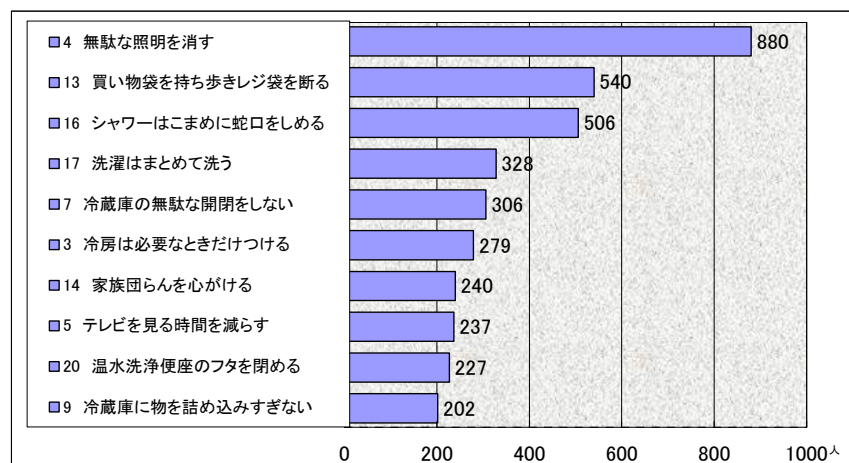
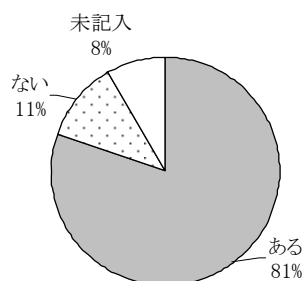


② チャレンジ 10 により、お子様やご家族の地球温暖化防止に対する意識は高まったと感じますか？

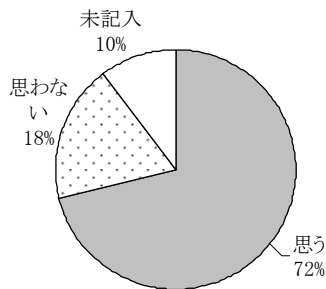


③ “えらんだとりくみ”の中で、習慣化した取り組みがありますか？

ある場合、そのとりくみは、どれですか？



④ チャレンジ10の取組により光熱費等が減少し、家計の節約になったと思いますか？



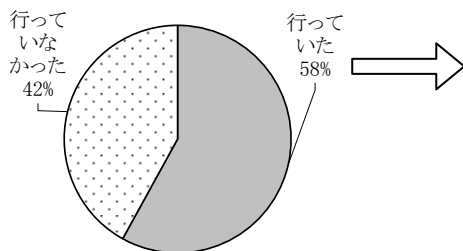
⑤ 感想や意見をご記入ください。

- ・今回のチャレンジで子供を介して、省エネへの取り組みをより身近に感じることができました。主婦として、家計の節約になる事も多くあり、「なるほど！」と思う事もたくさんありました。
- ・温暖化防止をよく聞いているが、なかなか一人の力でどうにもできないと思い取り組むきっかけがなかった。子供が積極的に行う事で、一つの家族からどんどんたくさんの方が目を向けてくれると、温暖化ストップできそうな気がします。
- ・「地球温暖化」について興味を持ち、いろいろ質問され、一緒に調べてみました。一人ひとりの少しの努力が大きな力になり、地球にやさしい環境づくりに貢献できればいいなあと思いました。
- ・子供達の為に、これからも「家庭から地球温暖化防止」を心がけたいと思います。学年問わず定期的にこのようなチャレンジがあると日本人全体の意識がより高まるのではないかと思います。
- ・当たり前と思っていてもなかなか実行出来ていなかった事が子供と行う事により、親としての責任感からがんばり習慣化し、それが地球の自然を守っていると思うとうれしく感じられます。
- ・初めは取り組み期間の長さに戸惑いましたが、終わってみると10週間続けたことで自然と習慣化しているものもあったので、チャレンジして良かったと思います。
- ・今までは親が言ってからやるという姿勢でしたが、子供自身が地球温暖化の意味を理解し、進んでとりくめるようになりました。とても良いきっかけをいただいた事に感謝の気持ちです。
- ・子供の環境に対する意識がすごく高まって大人の方が教えられる事が多かったです。できることから、できる人から進んでやろう！という気持ちを持つ事が大事なんだと考えさせられました。
- ・とても深刻な問題なのですが、実感がわからないのが本当の気持ちです。しかし、「だれかがなんとかしてくれる」とお思いよりも、「自分から出来ることはないかな」と思い始めました。一人ひとりの力は集まれば大きな力になる事を信じて、子供と考えていきたいです。

- ・子供にとってももちろんですが、私たち大人が大変勉強になりました。普段いかに環境によくないことをしているにか知るいい機会でした。今後もリーダーを決め、チャレンジを続けていこうと思いました。
- ・今まで、親が「もったいないから〇〇しなさい!」と言っても、その場限りでしたが、何故必要なのかわかったらしく、積極的に取り組むようになりました。すごく良かったと思います。
- ・何となく関心はあったものの実践しているものは少なく、改めてムダの多い生活を振り返り反省。この取り組みに関わる事であらゆる場所でエコに取り組んでいることを敏感に感じ深く関心を持つようになりました。
- ・とりくみ期間が終わっても、続けていきたいと家族で話しました。この取り組みを定期的にするれば、もっと意識が高まるのではないかと思います。
- ・大切な地球を守るために環境破壊をしないためという意識が高まったと思います。むずかしく考えていたことが、こんな身近なことからできるということがわかってよかったと思います。
- ・個人→家族→地域等、どんどん取り組みが増えていけば小さな事でも大きなことにつながるので、これからも続けていきたいと思いました。子供達とその子供達と将来の環境がより良くなれば本当に素晴らしいと思います。

(2) 学校 (回答数 : 50 校)

① 貴校において、従来から地球温暖化に関する授業は行っていましたか？

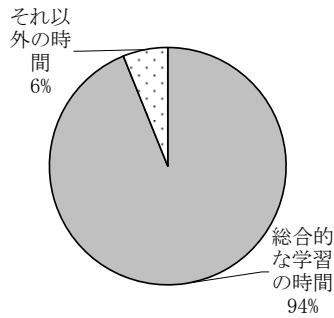


学年*	6年	17	科目*	国語	2
	5年	14		理科	15
	4年	9		社会	11
	3年	4		総合学習	16
	2年	1		その他	2
	1年	1			

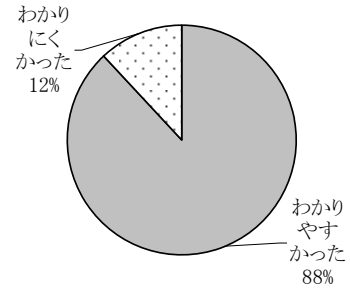
*複数回答可

② とやま環境チャレンジ 10 について

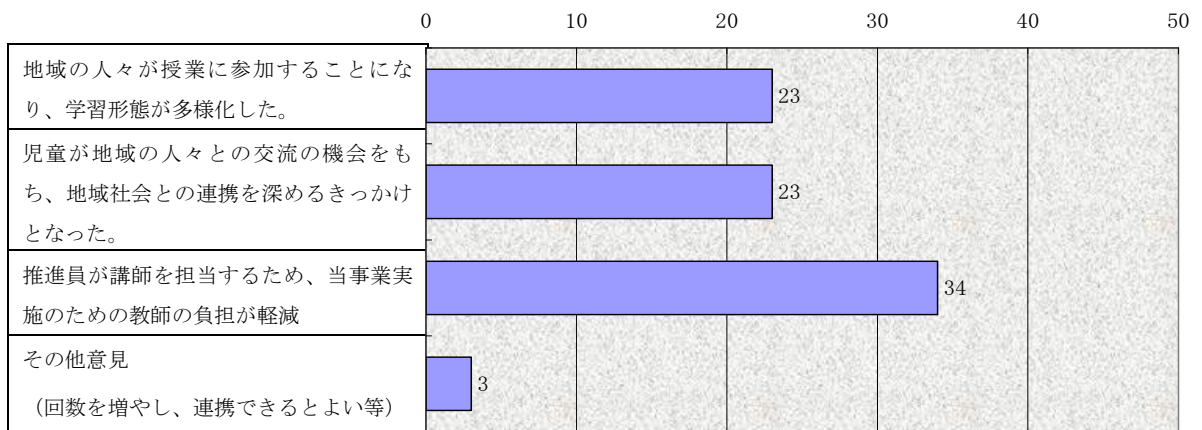
ア. とやま環境チャレンジ 10 ほどの時間を活用して実施されましたか？



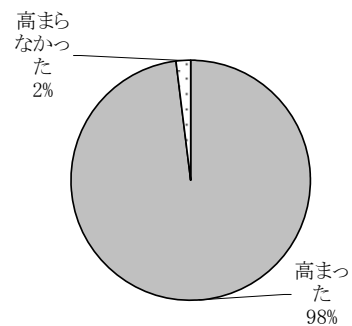
イ. 地球温暖化防止活動推進員による授業はわかりやすかったですか？



ウ. 地球温暖化防止活動推進員が参加することは、学校としてどのようにお考えですか？（複数回答可）



エ. 授業やチャレンジ 10 の取組みを通じて、児童の地球温暖化等環境問題への関心は高まりましたか？
 （話題になることや関連する質問が増えた、学校でも省エネの取組みを行うようになったなど）



【高まったと思う理由】

- ・子どもたちから地球温暖化防止という言葉がでるようになり、用紙の無駄遣い、食べ残しが減った。
- ・親子で推進員の授業を受けた事で、親子で地球温暖化への関心が高まり、家でも防止対策に親子で取り組んだ。
- ・興味・関心を高める授業をしていただいたおかげで、取り組み後も実践を続けている子供がいるので。
- ・学校でも水道の出っぱなしや電源の付けっぱなしなどに、子ども達の方から、指摘があるようになった。
- ・紙の無駄遣いをしないなど、子どもたち同士で声を掛け合うようになった。

- ・子どもたちは、他の学年や地域の人にも取組みを呼びかけるなど積極的になった。
- ・実践まではなかなかつながらなかったが、関連した学習のときなどには積極的に取り組むようになった。
- ・地球温暖化が自分に関係することを子ども達が認識した。
- ・総合学習の時間に計画的に取組み、活動の成果を学習発表会でステージ発表したり、新聞にまとめたりすることにより、意識がとても高まった。こどもエコクラブの活動としても取り組んだ。
- ・テレビなどで温暖化や環境関連の番組の後に、学級で話題になるなど関心が高まった。

オ. 児童のご家族の全般的な反応はいかがでしたか？

